



「辻よし子と歩む会」

☎ 190-0154

あきる野市高尾 182-1

電話 & FAX : 042-596-4569

e-mail : kusasigi@nifty.com

共同代表 : 柏倉倫子・岩田純子

「辻よし子と歩む会」ホームページ **小さな声に耳をすまし、大きな力にひるまず、コツコツと手作りの政治を!**
http://www.geocities.jp/yt_ayumukai/

ミゾゴイの保護を求めた 陳情 不採択に…



問題のすりかえで、不十分な審議



くさしぎ・草の根市議と市政を考える会では、12月議会に「深沢川の砂防工事におけるミゾゴイ保護の陳情」を提出しました。深沢川には、世界的に貴重な野鳥ミゾゴイが営巣しています。工事にあたって、その自然環境をなんとか保全して欲しいと願って陳情しましたが、残念ながら不採択になりました。



木が切られ、川面が丸見えになった深沢川

私たちの陳情は、現在進められている工事について環境保全対策がずさんであることを批判しながらも、今の工事を中断させるということではなく、「来年度以降の工事については、専門家の意見を聞きながら、しっかり検討してください」と求めたものです。しかし、議会では、市側が「市民の生命と財産を守るために、工事は必要」という主張を繰り返し、保守系の議員がそれを擁護する立場に回りました。結局、私たちの具体的な要望は、ほとんど審議されませんでした。中には、こんなやり取りもありました。

議員：「もし仮に、工事を中止し、そのことによって崖崩れが起き、住宅が壊れた場合の責任はどうなるのでしょうか？」

市側：「市や東京都だけではなく、陳情者が賠償責任を問われることにもなりかねません」（いずれも発言要旨）

まるで脅しに近い言い方で、耳を疑いました。「市民の生命と財産を守るための工事」と抽象的に言われれば、批判しよう



ミゾゴイ (インターネットより)

がありません。しかし、工事の内容を詳細に見ていけば、「市民の生命と財産を守るための工事」と、環境保全とを両立させる道があるはずで、次世代に豊かな自然環境を引き継ぐためには、それぞれの立場から知恵を出し合うことが必要であり、今回の陳情は、その方法を提案したものです。また、審議の前に深沢川の現地視察がおこなわれましたが、議会は事業主体である都の説明だけを聞き、工事に疑問を持つ専門家を呼ぶことはありませんでした。本来、議会は行政をチェックする役割を担っているはず……。しかし、今のあきる野市議会は、行政の補完機関になっているように思えてなりません。 (辻よし子)

市民のつばやき (その2)

「市長への手紙」は、誰への手紙!?

私は『市長への手紙』に「市長へ」手紙を書きました(メールですが)。回答を希望するか、しないか? と言うことで、もちろん、希望しました。しかし、1週間ほどして来た回答には質問に対する担当課長と市長公室が書いたものだけで、肝心の市長本人の声が一行も入っていませんでした。確かに市長へ来るメールは毎日山ほどあるでしょう。ですから『市長への手紙』

にまで手がまわらないのかもしれませんが、でも、それも踏まえての『市長への手紙』なんじゃないのでしょうか? パブコメにしても『お寄せください』と言われるので意見を出しますが、やはりなかなか反映されません。形式ばかりの『市長への手紙』では意味がありません。まるで市民を馬鹿にしているように思えるのですが…。(T)

秘密保護法の廃止を！

どの子も戦争へ行かせたくない。だから、安倍政権の暴走を食い止めなくては！

12月6日、ついに、稀代の悪法、秘密保護法が自民党・公明党によって強行採決されてしまいました。秘密保護法案に反対する世論が日毎に高まり、問題点が明らかになり始めてきたので、早いうちに数の力で成立させたかったのでしょうか。しかし、市民はあきらめていません。法案が成立した直後から、この悪法の廃止を求める運動が続いています。

麻生副総理は言っていました。「だれも気付かぬうちに、いつの間にか憲法が変わっていた、あのナチスの手口に学んだらどうかね」まさに、今、日本の憲法が、多くの国民に気付かれないうちに、骨抜きにされようとしています。秘密保護法が必要になったのは、安倍政権が集団的自衛権の行使を目論んでいるからです。集団的自衛権とは、つまりアメリカと一緒に戦争をおこなうことであり、そのためにこれまで以上に秘密の縛りが求められたのです。

今年は、**国家安全保障基本法**という、さらに恐ろしい法律が作られようとしています。今の日常生活の中では、あまり危機感が感じられないかもしれませんが、戦争とは、人々が無関心であるうちに、いつのまにか始まってしまうものなのです。そうならないために、一緒に政治について学び、みんなで戦争反対の声をあげていきましょう。



あきる野市議会でも、共産党が秘密保護法案の廃案を求める意見書を議会に提出し、議会初日に審議されました。民主党、誠和会が賛成し、特に誠和会は「(秘密保護法は)民主主義の崩壊につながる暴挙」「保守も革新もなく国民目線に立って判断すべき」と、問題の核心を突く意見を述べました。しかし、自民党志清会、市議会自民党、公明党が意見書の提出に反対し、否決されてしまいました。

「男・女」の記載をめくって その後…

様々な書類で求められる、「男・女」の記載。多くの人たちにとっては無意識に書いているものかもしれませんが、性同一性障害(身体的な性別と性自認が一致しない人)など、性的少数者にとっては、毎回、苦痛な項目です。その見直しの方針が10年近く前に国から各自治体に出されました。しかし、あきる野市では、いまだに「男・女」の記載欄が多く見られます。そこで、10月8日に当事者のIさんと私たちのメンバーで市役所へ行き、 unnecessary記載欄は削除できないか、担当課長と話し合いました(ここまでは前号にも書きました)。

その後、総務課長から連絡が入り、現在、以下の通り、見直しの作業が進んでいることが分かりました。

*各課で調査したところ、約400の書類に「男・女」の記載欄があることが分かった。

*そのうち約160件は、すぐに削除できそう。さらに削除できる書類がないか、1月末をめどに庁内で調整していく。

本来、もっと前におこなわれているべき作業だったとはいえ、現担当者の迅速な対応に感謝したいと思います。

12月議会に見る各会派の考え方

(○は賛成、×は反対)	自民党 志清会	市議会 自民党	政和会	公明党	民主党	共産党
陳情：深沢川砂防工事におけるミソゴイの保護	×	×	×	×	○	○
陳情(継続)：旧秋川高校跡地の活用計画の見直し	×	×	×	×	○	○
議員提案：秘密保護法の廃案を求める意見書	×	×	○	×	○	○
陳情：るのバスの改善	×	×	×	×	○	○
陳情：介護保険制度改悪に反対	×	×	×	×	×	○
陳情：容器包装リサイクル法改正を求める意見書	○	○	○	○	○	○
議案：あきる野市国保条例の一部改正	○	○	○	○	○	×
議案：あきる野市下水道条例の一部改正	○	○	○	○	○	×

市のHPで本会議の様子が見られませんが、旧秋川高校跡地は、結局、企業誘致のままに……。

